

11月1日(金) 15:15-17:30

セッションチェアマン：山本 浩之(マイクロメモリジャパン(株))・森 義弘(株)SCREEN セミコンダクターソリューションズ)

◆ Innovation and Challenges in the latest DRAM



マイクロメモリジャパン株式会社  
DIRECTOR  
DRAM Integration Technology  
藤田 博丈

[講演要旨]

DRAM is a fundamental component in every aspect of modern life but its relentless scaling faces critical challenges. In this presentation, we explore key aspects focusing on innovative process integration and material development required in the 1 $\gamma$ -DRAM.

[講演者プロフィール]

2000年名古屋大学大学院工学研究科修士課程を終了。同年東京エレクトロン(株)入社。台湾半導体企業を経て2011年よりエルピーダメモリ(株)に在籍。2013年よりマイクロメモリジャパン(株)にてDRAM開発に従事。台湾への開発品の移管、及び米国での開発を経て、現在は広島にて最先端のDRAM開発に従事。

◆ 強誘電メモリの展望(仮題)



東京大学  
工学系研究科  
システムデザイン研究センター(d.lab)  
准教授  
小林 正治

[講演要旨]

[講演者プロフィール]

---

## ◆ 半導体設計での EDA ツールにおける AI とマシンラーニングの状況とこれから

### ～設計の AI 化は設計者不足を解消するのか！？～



日本ケイデンス・デザイン・システムズ社  
アカウント・テクニカル・エグゼクティブ ディレクター  
牧井 徹

#### [講演要旨]

近年、半導体業界は 5G、IoT、AI 技術、オートモーティブの進展により急成長し、設計者不足が深刻な問題になってきています。製造技術の進化で高度な技術も設計者には必要とされています。この中で、ケイデンスは先端プロセス対応や新しい技術に対応した EDA ツールを開発しています。本セッションでは、ケイデンスのデジタル設計における AI・マシンラーニング技術を題材に、半導体設計における AI・マシンラーニングの状況と今後について紹介します。

#### [講演者プロフィール]

1995 年 3 月 山形大学卒業  
1995 年 4 月 イノテック株式会社入社。アプリケーションエンジニア部に所属  
2004 年 6 月 Cadence Design Systems 社へ転籍  
2009 年よりエンジニアから製品営業部を担当、2015 年 1 月より製品営業に加えファウンドリ担当窓口を担当し現在に至る

---

※本講演に興味を持たれた方は、こちらの講演もご覧になっています。

【C-1】 半導体の市場・技術動向

【C-2】 装置技術・プロセス技術